農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄 キャラバン
宮崎大学産学・地域連携センター マッチングのためのラウンドテーブルin宮崎 連携事業

輸出用サツマイモを守れ！九州基腐病対策研究会

第1回　基腐病を知る

「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」

講師　国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター　　小林　有紀　氏

2022年6月9日（木）15:00～
宮崎商工会議所コンベンションホール　大会議室
（宮崎市錦町1番10号KITENビル8階）

参加費無料
定員：会場40名
（事前予約が必要です）

Zoom webinar
同時開催

九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）
イベント情報からWEB申込み

https://www.opack.jp/events/

【主催】　農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄
【共催】　宮崎大学産学・地域連携センター、公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構
【お問い合わせ先】公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構　　担当　田代
TEL：092-805-3677　　E-mail：info-qpf.2nd@agr.kyushu-u.ac.jp

【プログラム】

15：00　開会あいさつ
15：05　プラットフォームの活動紹介
15：30　講演
「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」
～ 令和3年度版マニュアルの紹介 ～
農研機構 九州沖縄農業研究センター
暖地畑作物野菜研究領域
畑作物・野菜栽培グループ
小林　有紀　氏
16：30　質疑応答
16：45　九州基腐病対策研究会 今後の予定
16：50　閉会あいさつ
17：00　名刺交換会

【きゅうおきキャラバン　シリーズ１
「九州基腐病対策研究会」開催趣旨】

南九州地域では、現在、サツマイモ生産を脅かす「基腐病」が深刻化しています。

輸出品目としても重要な「サツマイモ」の産地を守るためには、この病気を知り、適切な対処を行うことに加え、新しい病害対策技術を開発することが重要です。サツマイモ基腐病は、農研機構をはじめとした研究チームでこれまで精力的な研究が進められてきました。

今回は、生産者をはじめ、皆さまに基腐病の理解を深めていただくため、農研機構でまとめられた最新の基腐病対策マニュアルについて、研究開発者から解説していただきます。

サツマイモ基腐病撲滅に向けて、様々な立場の参加者の皆さまと意見を交わし、研究会を設立します。

【農林水産物の輸出促進研究開発
プラットフォーム@九州・沖縄】

農林水産物の輸出拡大のためには、生産・加工体制、鮮度保持、品質規格・基準への適合、生活・文化の違いを理解したマーケティングなど、多数の未解決の課題が山積しています。

本プラットフォームでは、農林水産省「知」の集積と活用の場を基盤に、地域や企業の声を聴き、多方面からの参画を求め、ニーズとシーズが交流できる場を構築することにより、バックキャスト型で研究・実践する活動を幅広く展開いたします。

この度、研究テーマごとに「農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄キャラバン（略称：きゅうおきキャラバン）」なる産学連携交流会を開催し、課題解決・事業化を目指して取り組んでまいります。

プラットフォームHP：
https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/~a2b-platform/#news

注意事項：新型コロナウィルス感染症への対策として、以下の対策を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。
①参加時に体温が37.5℃を超える方、2 週間以内に国外へ出かけたことのある方、体調がすぐれない場合は、参加をお控えください。
②必ずマスクを着用し、会場入口にて手指消毒を行ってください。
③座席間の空間を確保するため、資料を配付している席にお座りください。
④換気のため、ドアを一部開放し、進行いたします。
⑤万が一、新型コロナウィルス感染拡大等の社会的な影響があった場合には、急遽、開催を延期させていただく場合があります。ご了承ください。